

海外オンライン研修プログラム【ハワイ・氷ノ山研修】

8月3日(水)～5日(金)に2泊3日、氷ノ山の氷太くんに宿泊して、ハワイ島と鳥取の生態系について考えるプログラムを実施しました。今年度は、鳥取西高以外にも、米子東高校、倉吉東高校、青翔開智高校の生徒計22人が参加しました。

午前中はハワイオアフ島とをライブで結んで伝統的な暮らしと持続可能な社会を考える時間、午後は氷ノ山をフィールドとした研修を実施しました。フィールド研修は、年輪調査や二酸化炭素吸収量を考える森林班、アカハライモリの生態調査をするイモリ班、棚田の維持管理と今後を考える棚田班の3つに分け、最終日には英語でのプレゼンと、日本語でのプレゼンの2つを実施するというものでしたが、どの班もしっかりと課題を見つめ、オリジナルな考えを発表していました。9月には事後研修を実施する予定です。

ハワイオンライン研修の発表スライド(抜粋)

○ Hawaii's attempt to improve the situation

～ IN KAILUA BEACH ADVENTURE ～

REUSE ・ used micro plastics to make art
ex) beach clean up

RECYCLE ・ separate wastes
ex) recycle shop

REDUCE ・ bring your own bottles
that you can use again and again
ex) refill station





Things we can do

- Not to get plastic tableware
→ Having ourselves chopsticks, spoon and fork in going restaurant (not plastic)
- To avoid using plastic bottles
→ Having own bottles that can by such shops a grocery



森林班の活動の様子と発表スライド(抜粋)



樹木の測定方法

直径 直径割巻尺 → 木の幹に巻き付けたら直径がわかります

樹高 超音波測高器 → 超音波を使って樹木からの距離と角度を計ることによって樹高を出してくれます

樹齢 ①成長錐を使ってコアを取り出す
②コアの年輪の数を数える

幹材積(m³) (胸高直径/200)² × 3.14 × 樹高/3

測定時までのCO₂吸収量(ton)
幹材積(m³) × 材の容積密度(ton/m³) × 拡大係数 × 0.5 × 44/12

容積密度 : 0.37(針葉樹) 0.49(広葉樹) 拡大係数 : 1.7(針葉樹) 1.8(広葉樹)

年輪の幅を見ることによって年輪ができた当時の環境がわかる





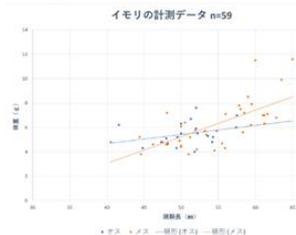
イモリ班の活動の様子と発表スライド(抜粋)



雄・雌の数と体重の分布

イモリの計測データ n=59

	オス	メス
個体数	20	39
性比	34%	66%
頭胴長 (m)	オス	メス
平均	50.63	54.21
MAX	57.5	65
min	41.6	40.5
体重 (g)	オス	メス
平均	5.46	6.15
MAX	7.6	11.6
min	4	3.8



棚田班の活動の様子（ドローン撮影）と発表スライド（抜粋）



3.水源について

水源
長い→750m
スキー場のリフトの下から
岩から湧き水も

水
水の管理が難しい
→標高が高いから水温低く穂が小さくなる
→芯が弱くベチャツとなる
→一人で管理できないから集落のみんなで

○ 上空からみた棚田 ○

つく米棚田

隠し田

つく米棚田

米の品種
・ごころまち
・ひめのもち

